

# コロナ禍で有効な教育のしくみを考える。対面→非対面教育の実現！ 生産現場で役にたつ 現場作業者が「自分で作れる」ビデオ標準

AT/ST差ロスの削減(作業手順の統一)、教育訓練ロスの削減に有効

※ビデオ編集ソフト「Corel VideoStudio Pro2019」(無料体験版)をインストールしたPCを持参してください。ダウンロードサイトは開催が近づきましたらお知らせします。

**日時** 2021年2月9日(火) 10:00~17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込) ※同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円  
※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

日刊工業新聞社セミナー会場案内図



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅(A2) 出口より徒歩3分  
東京メトロ 半蔵門線 水天宫前駅(8番) 出口より徒歩4分  
都営浅草線 人形町駅(A6) 出口より徒歩3分  
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

**セミナー申込を検討中の皆さまへ**  
新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにご確認ください。  
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

**受講にあたり**  
開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

**お申し込み方法**  
ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

**受講料**  
セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

**キャンセルポリシー**  
開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

**申込・問合せ** 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

**受講申込書** 2/9 ビデオ標準

お申し込みは    
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			

# 開催主旨

コロナ禍では、従来の対面教育(OJT)の実施は困難です。ビデオ標準、AIアドバイザー、遠隔支援を活用したコロナ禍での非対面教育のしくみをつくりが急務です。

新しく入った人(教えたい人)は、配属されたその時から忙しいというのが実態ではないでしょうか。もっと深刻なのは、教える人(ベテラン作業員)が教育・訓練に疲れてしまっていることです。人の入れ替わりが早い、雇用形態の多様化、外国籍の人、再雇用・雇用延長の先輩方…新しい仕事を教えたい人に合わせた教育・訓練のしくみづくりをご紹介します。

本講座では、紙ベースの作業標準書の不備を解消し、つきっきり教育から解放されるビデオ標準の作り方をご紹介します。具体的には、対象作業の決定から構成作業、編集作業、それによる教育の実施方法、効果測定までの一連の流れを解説します。現場作業員が作れる、現場で役に立つビデオ標準を作成して、新人の即戦力化・多能工化・技能伝承を実現してください。

## 講師

ロンド・アプリウェアサービス **大谷 みさお** 氏

**【略歴】** 日立東京エレクトロニクスに就社し、半導体製造部門に配属。1998年、ロンド・アプリウェアサービスに入社。組立・プロセス産業のコンサルティング業務に当たり、22社3団体で成果を上げる。最近では、音声認識を活用したAIアドバイザーでポカミス対策を実施するなど、カイゼン×IoT活動に取り組む。現場作業員と一体になって取り組む“現場実践型”コンサルティングを信条とする。

## プログラム

### 1. 紙ベースの作業標準書を使った教育の実態

作業がイメージしにくい／人によって教え方が違う／つきっきりで教育をしないといけない／教育に時間がかかる・再教育が必要になる…など

### 2. ビデオ標準とは

ビデオ標準とは:繰り返し見ることで作業のイメージを頭に植え付ける教育ツール  
自主学習が可能(知りたいときに学べる)／つきっきり教育ロスが削減できる／明文化できない…でも見ればわかる!を活用

### 3. ビデオ標準の7つのポイント

①狙い・目的／②標準作業員／③わかりやすい撮り方／④絵コンテ／⑤解説、作業ポイント／⑥教育の工夫／⑦効果の把握

### 4. ビデオ標準整備へのアプローチ

#### 4-1 ステップ1:絵コンテの作成

①絵コンテとは  
絵コンテ作成のポイント  
②絵コンテの3つのパターン  
・作業のポイント／判断・判定基準を示すビデオ標準  
・作業全体の流れを示すビデオ標準  
・調整・スキルを示すビデオ標準  
③絵コンテの基本形  
・導入／作業の流れ、目的、設備構成図／部品図、完成図、使用する治工具・設備  
・注意点、ポイント／やってはいけないこと、NG／OK作業、異常時の処置、安全の注意、作業ポイント  
・作業手順 ※絵コンテの作成事例から学ぶ

#### 4-2 ステップ2:映像の準備作業

①準備する映像の種類  
動画／静止画／図／NG／OKシートの準備  
②教育対象者の決定  
作業時間・品質評価マトリクスを用いてミスが少なく作業時間の早い標準作業員を決定する  
③わかりやすい撮り方5つのポイント  
撮影方向／撮影距離／撮影時間／撮影範囲／映像の解像度

#### 4-3 ステップ3:[演習で学ぶ]編集作業

①編集の手順  
②ビデオ編集の7つの工夫  
③ビデオ標準編集の12の流れ  
④ビデオ編集ソフトの種類  
※ビデオ編集ソフト  
「Corel VideoStudio Pro2020」(無料体験版)を操作しながら作成方法を体験する

#### 4-4 ステップ4:教育の実施

①ビデオ標準活用ルール決定／  
②教育内容、時間と受講対象者の決定／  
③訓練の実施／習熟評価基準の決定

#### 4-5 ステップ5:効果の測定

①成果・効果の表れ方(AT/ST差の削減)／  
②不良件数の削減／③ポカミス件数の削減／  
④手直し件数の削減／⑤廃棄部品費の削減／  
⑥教育回数・教育時間の削減

### 5. 標準整備へのアプローチ

標準の7つの不備を解消する

### 6. ポカミスゼロへのアプローチ

ポカミスが発生させる20の要因を対策する

### 7. 質疑応答